

まちの「今」をお届けします

小野田・楠企業団地へ進出
市と渡勇工業が協定を締結

渡勇工業株式会社の小野田・楠企業団地への進出決定に伴い、3月26日、市役所で市との協定調印式が行われました。

同社は昭和34年に創業し、各種水処理装置組立を主業に、各種プラント据付・配管工事、配管製作、製缶、設計施工からメンテナンスなどを行っています。

当団地への進出は、同社の更なる事業拡張を見据え、現在の山口事業所を移転するもので、来年4月の操業開始を予定しています。なお、当団地への企業進出は9社目となりました。

調印式は高林県企業立地統括監の立会いのもと行われ、藤田市長は「卓越した技術力とサービスで、顧客からの信頼も厚いと聞いている。新事業所が西の拠点としてさらに発展することを期待している」とあいさつしました。また、岡村代表取締役は「当団地は環境やアクセス面、広さ等申し分がなく、できるだけ早い時期の稼働を目指す。地元人材の採用にも力を入れていきたい」と抱負を述べました。

渡勇工業株式会社
 〈本 社〉 静岡県藤枝市青葉町三丁目
 5 番 32 号
 〈代表者〉 代表取締役 岡村 智



左から藤田市長、高林謙行県企業立地統括監、岡村智代表取締役



コロナ差別や偏見をなくそう
サビエル高生がリボン制作

コロナ禍における差別や偏見をなくするための運動「シトラスリボンプロジェクト」。この運動に賛同したサビエル高等学校の生徒がオレンジ色のリボン150本を制作し、3月25日、市役所で配布しました。岩田真由子生徒会長と大村咲葵書記は「シトラスリボンを知ってもらい周りの人に広めてほしい」と話しました。



より良い行政サービスを
デジタル推進室長に九島氏

システム開発事業を手掛ける日本情報通信(株)(東京都中央区)から、デジタル技術の専門家である九島美波さんが派遣され、4月7日、市に新設されたデジタル推進室長に就任しました。九島さんは「自身の経験やネットワークを生かし、山陽小野田市のデジタル化に尽力したい」と抱負を語りました。